

## 日本天文学会評議員候補者選挙に関する公示

評議員選挙管理委員会は、2000年の春季総会に推薦される改選評議員（任期2000年～2003年）候補者の選挙について、定款第25条及び評議員選挙施行細則（以下細則という）に基づき、下記の通り公示する。

### 記

1. 選挙権及び被選挙権を有する者は、この公示の時点における正会員である。ただし非改選評議員（任期1996年～1999年）は被選挙権を有しない（細則3条による）。
2. 上記有権者には、有権者名簿及び投票用紙を発送する（細則4条による）。

3. 投票は、10名以内の無記名連記とする（細則5条による）。
4. 投票期間は、1999年11月13日（土）から1999年12月12日（日）（必着）までとする。
5. 選出された候補者の名簿は、2000年2月20日発行の天文月報（93巻3月号）にこれを発表する（細則7条による）。
6. 選挙の詳細に関しては、上記2の有権者名簿及び投票用紙の発送に際して、これを通知する。

以上

1999年9月20日

選挙管理委員会委員長 川村静児

## 星空市場

### 天文月報の題字について

#### 〈質問〉

天文月報の表紙のタイトルは1908年4月の創刊号から使われているようですが、誰が書いたものですか。「報」の字は常用漢字とは違いますが、ただし昔の中国の書家の書いたものと同じ字があります。朝日新聞のタイトルも常用漢字表にないので問い合わせたところ、これは商標として使っているとのことでした。月報のタイトルも同様と考えてよいのでしょうか。

佐藤明達（東京都）

#### 〈お答え〉

天文月報の題字に関する質問を何人かの方から受けました。私自身あまり意識していなかったのですが、言われてみると少し変わっています。そこで編集事務局の山崎さんがバックナンバーを調べてくれました。1982年12月号に当時編集長をされていた成相恭二先生が、『75年目を迎えた天文月報』と言う題で月報の題字について

触れられていました。その中で天文月報第一号（明治41年4月発行）の表紙が紹介されており、題字は左右の順序こそ反転しているものの、全く同じ文字が使用されているとのこと紹介されていました。しかし残念ながら誰の筆によるものかについては不明であるとのことでした。そこでこの問題はやはり成相先生にお伺いするとヒントがあるのではないかと思います、お電話でお話をお聞きしました。その際には不明なままだったのですが、その後成相先生から関口直甫先生にご連絡いただき、題字について明らかとなりました。この字は第一号の発刊の辞を書かれた寺尾壽先生によるものとのことでした。この際に寺尾先生が天文月報の英文名である The Astronomical Herald の名前も発案されたとのことでした。再度成相先生と関口先生にご協力いただきましたこと、お礼を申し上げます。

天文月報の題字は現在 Web ページ上のロゴとしても使用されています。このロゴを月報原稿を個人的に Web ページ上に掲載されている方から、月報のページへのリンクボタンとして使用させていただけないかとの問い合わせも頂きました。原稿掲載と共に月報編集部まで一言ご連絡いただければ幸いです。

上野宗孝（天文月報編集長）

編集委員	上野宗孝（編集長）、大橋正健、小野智子、斎藤芳隆、田村元秀、土橋一仁、内藤統也、和田桂一
平成 11 年 9 月 20 日	発行人 〒 181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
印刷発行	印刷所 〒 162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町 565-12 啓文堂 松本印刷
定価 700 円（本体 667 円）	発行人 〒 181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
TEL: 0422-31-1359（事務室）／0422-31-5488（月報・欧文編集）	FAX: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595
日本天文学会のホームページ <a href="http://www.tenmon.or.jp">http://www.tenmon.or.jp</a>	月報編集 e-mail: <a href="mailto:gjim@tenmon.or.jp">gjim@tenmon.or.jp</a>